

令和3年度

社会福祉法人 清風会

特別養護老人ホーム 平寿園

事業経過報告書

## 《 介護サービス 》

1) 新しい生活様式に対応した生活環境を提供する。

- ・感染症対策の重要性を把握し、認識を深める。(マスク着用、手洗い、消毒の基本を厳守)
  - ◆日々の消毒、感染予防が習慣化し、職員の認識が深まった。
- ・環境の維持、管理を行い接触頻度の高い物の消毒を徹底する。
  - ◆定期的な換気と接触頻度の高い手すりやドアノブ等の消毒を毎日行った。
  - ◆職員は出勤時、利用者は入所時や病院受診時に手指消毒と検温、また必要時には抗原検査を実施した。
- ・利用済みリネン類の適切な処置を行う。
  - ◆感染者が出る事はなかった為、週1回・汚染時にシーツ交換し交換したシーツ等は、指定のリネン庫で保管した。
- ・感染者が出た場合の対応マニュアルを把握する。
  - ◆短期利用者に感染疑いの方がいたが、対応マニュアルを把握していた事と、看護との連携で対応に混乱する事はなかった。

2) 不適切介護への知識を高め、利用者に寄り添う介護を実践する。

- ・身体拘束となる具体的な行為を確認し、拘束しない工夫(代替え)をする。
  - ◆身体拘束適正化委員会にてグループの問題点を話し合い、対策の検討・見直しを行い拘束に繋がらない対応を行うことができた。
  - ◆身体拘束かどうか、迷いがある場合はグループ・介護主任を通して別の方法を考えて対応する事ができた。
- ・立ち上がり等利用者の行動の意味を考え、固定観念をすて原因の究明・解決にあたる。
  - ◆立ち上がり等の利用者には本人の意思を確認し、話相手になることで落ち着く事もあった。また、グループ内で協力して個々の対応に取り組む事ができた。
- ・心理的虐待(脅し、侮辱、威圧的な態度、無視等)に関して共通認識を持ち虐待をしない・させない環境をつくる。
  - ◆常に注意しながら介助したが、忙しい時などに言葉使いがきつくなることもあり、その後反省する事があった。
  - ◆職員間において間違っていると思う言葉や介助には注意しあったり、言葉を置き換えて激しい口調にならないような対応を行った。
  - ◆職員が威圧的な言葉や態度と思わずに対しても、利用者の受け止め方は違っていたのではないかと思う事もあった。
- ・リスクマネジメントについてグループ会議で協議し、共有する。
  - ◆毎月のグループ会議にて、提出のあった事故報告について話し合い対策を共有した。
  - ◆身体拘束適正化委員会での協議事項を、グループ長がグループ内に申し送り周知した。
- ・多様なレクリエーションを提供し、気分転換を図る。
- ・利用者の気持ちに寄り添い、生活しやすい環境や雰囲気を整える。
  - ◆行事や散歩など園外に出る機会を増やしたかったが、人手不足ということもありあまり実施する事ができなかった。

- ◆レクレーションにおいては、時間に余裕がある時には頻度を上げる事ができた。
- ◆季節に応じた余暇活動(そばあやし・野菜の植え付け等)、季節の花々などを飾り利用者の気分転換を図った。

### 3) 職員の質の向上をめざす。

- ・研修に取り組めるよう、よりよい環境の場を提供する。
  - ◆コロナ禍により、対面での研修はできなかったが、Web研修として毎月メディパス研修に取り組む事ができた。(グループ間での声掛けを行ったが、月末ギリギリに済ませる職員もいた)
- ・資格取得について支援する。
  - ◆少ない人員の中で効率よく仕事をするために、グループ職員で常に意見を出し合い改善できた。全員で意見を出し合った事で、研修がしやすい環境をつくっていく事ができたのではないかと思う。
- ・喀痰吸引等の実地研修においては、お互いに励ましあいながら資格取得をめざす。
  - ◆施設内にて4月～10月にかけて、5名の職員が実地研修を受け資格取得する事ができた。

#### @資格取得

介護福祉士 合格なし(3名受験) 介護支援専門員 (受験なし)

### 【事故報告について】

- ・転倒10件(夜間3件・受診2件) ・座り込み6件(夜間2件) ・転落4件
- ・皮膚剥離15件(1件受診:右下肢5針縫合)、ステリテープ、ガーゼ、コンネット等処置
- ・器物破損5件 ・誤薬1件(病院へ連絡し Dr.より血圧測定・様子観察の指示あり)

## 【看護】

### 1) 感染症対策に努める。

- ・基本的感染症防止策を徹底する(マスク使用・手洗い・消毒・換気)。
  - ◆マスク使用の定着、手洗い、手指・手すり等の消毒、1日3回の換気を行い感染防止に務めた。
- ・職員の体調管理に努める(早めの報告・相談・対応)。
  - ◆毎日の健康チェックを行い、体調不良時にはお互いに言葉をかけて早めの受診をした事で感染することはなかった。
- ・感染症が確認された場合は、職員に対して的確な指示を出し統一した対応を行う。
  - ◆職員が感染する事はなかったが、家族が職場や学校での濃厚接触者の接触者となり、上司の指示で自宅待機となった。感染の有無が確認され出勤日に抗原検査を行うなどの対応で職員が感染する事はなかった。
- ・医療機関・施設との連携を密にする。
  - ◆熱発者が出た時は、村病院への連絡で早めの対応ができた。(受診・服薬指示)

### 2) 経管栄養注入者、喀痰吸引が必要な利用者の対応を安全に行う。

- ・指導者による経管栄養、吸引や器具の取り扱いの指導を行う。
  - ◆指導が必要な介護職員に対し、喀痰吸引指導看護師により実地研修を行う事ができた。

- ・経管栄養注入前後の状態観察を行う。
  - ◆状態観察を行い、血色不良や発熱などの確認ができ早めの対応ができた。
- ・経管栄養注入前の吸引や必要に応じての吸引を実施する。
  - ◆注入前や夜間帯の吸引を行う事で入院する事なく過ごした。

### 3) 機能訓練への取り組み。

- ・リハビリメニューを作成し、計画に沿った訓練を実施する。
  - ◆計画書に沿った機能訓練を介護職員と協力して実地する事ができた。
- ・グループ体操や食事前の口腔体操を取り入れ生活リハビリを行う。
  - ◆生活リハビリとして、食事前にフロア毎に歌を取り入れた体操や口腔体操を行う事ができた。
- ・利用者の状態観察をして実施する。
  - ◆身体的機能、認知機能の低下により状態を把握する事が難しいが、発熱などや関節の腫れ等ある時は中止した。
- ・口腔・嚥下機能を維持する為、歯科医師に相談し個々にあった口腔訓練を実施する。
  - ◆月1回の往診時にて口腔内の清潔は保つ事ができたが、口腔訓練は理解できない利用者もいる為、相談しながら実施した。

## 【 調理・栄養士 】

### 1) 禁止食材や補助食品等の伝達を確実にを行う。

- ・アレルギー食材のある方は、食札の色を変え誰もがわかる様にする。
  - ◆食札を濃い緑にする事で、提供する際に見落とす事はなかった。
- ・病気や薬による禁止食材は、伝達ノートへの記入・禁止一覧ボードへの記入を怠らない。
- ・当日の献立表に、料理担当者が対象者の名前を書き込む。
  - (出勤者全員で間違いないかの確認を行う)
  - ◆当日の禁止食材がある方の書き出しについては、見落としがある時もあったが料理を作る人や盛り付け時に気づき、事故を未然に防ぐ事ができた。

### 2) 利用者に季節を感じて頂ける食材の提供。

- ・季節の旬の野菜を取り入れて季節の変わりを感じてもらう。
  - ◆季節の食材として、菜の花・竹の子・ふきのとう・鰻・餅等を提供し、利用者との会話にもつながった。
- ・地産地消の食材を取り入れ、利用者の方へ一斉放送にてお知らせする。
  - ◆地産地消食材提供時の放送は忘れる事が多かったが、食事中に栄養士が各グループの所に行き利用者に伝える事はできた。
- ・保存のきく野菜は、漬物などに加工して味わってもらう。
  - ◆保存の利く物として、頂いた大根で数種類の漬物を作り朝食や行事食に提供できた。

### 3) 各部署と連携し、体調維持をサポートする。

- ・食事摂取状況の把握。
- ・自助具等の変更。
- ・食事低下の補助食品の厳選。
  - ◆看護・介護と相談しながら利用者の状態に合わせて調整し提供する事ができた。

・利用者の好む食材の確認と提供。

◆個人の嗜好については、特に食事低下の方で「何もいらない、食べたくない」と言われる方がいたが、少しでも食してもらえる様にプリン・ゼリー・あんこ等を提供した。

・体重変動の確認。

◆体重変動については、村立病院先生と看護との話し合い後に栄養士が対応するという順序で対応した。

## 【 事務管理 】

・介護報酬の改定に伴い単位数や加算について理解するとともに収入増に務める。

◆主軸となった改定ポイントの理解と取得できる加算の算定要件を確認できた。

・各部署間と必要な情報を共有し信頼できる関係を作り、効率の良い業務ができるように務める。

・利用者の要望やご家族の問い合わせに応えられるよう情報を収集し迅速に対応する。

◆利用者とそのご家族からの問い合わせについては、常に親切で丁寧な対応に努めた。また、必要な情報は各部署との連携をとり事務効率の向上となった。

・コスト削減では、在庫管理を確実にし円滑な業務遂行・コスト削減に努める。

◆備品・消耗品・介護用品については、取引業者との情報提供を得ながら低価格の購入を心がけ、過度の注文を控えた。

## 【 相談員 】

・感染予防対策について、ご家族や外部の情報に視野を広げ施設内において情報共有し対応する。

◆居宅ケアマネやご家族からの情報を収集し、施設内にて情報を共有・対応する事ができた。

・利用者・職員とのコミュニケーションを密にし、要望やニーズを汲みとり安心して相談できる環境づくりを行う。

◆会話の場を多く持ち会話しやすい雰囲気づくりに心がけた。

・外部からの苦情・問い合わせに対しては情報を収集し、迅速かつ適切に対応する。

◆苦情)

事務所 1件 @介護職員の忘れ物を知人に届けてもらった際に「お酒の匂いがしてた」との事を受け取った職員が介護職員に伝えた。その内容が知人に伝わり苦情の電話があった。

デイ 1件 @利用者のご家族より「利用日だったのに迎えが来ず自分も仕事でデイに行っていると思いきや昼食の準備もしていなかった。どういう事でしょうか」との内容の電話があった。

問い合わせ)

介護 1件 @短期入所利用されたご家族より「退所の際に衣類等は全部持ち帰るものなのか。もしそうなら、ズボンや上っ張りが揃っていないが」との電話があった。

苦情・問い合わせの対処等の内容は相談記録に残した。

◆ご家族・地域の方にも迅速かつ丁寧な対応(説明・お詫び)を行い納得してもらう事ができた。

- ◆各部署間において、職員への聞き取りを行い今後の対応を確認した。
- ・ご家族や地域との連携を図りながらふれあいの場を提供する。
  - ◆コロナ禍の中、思う様にふれあいの場を提供する事ができなかったが、コロナが落ち着いた時期に子供会により神楽披露を行う事ができた。利用者の方々も昔を思い出しながら弊を握り、せり歌を歌いながら喜ばれていた。
  - ◆JA女性部の慰問では、園外清掃・花壇の花植をして頂いた。
- ・職員のよりよい就業環境を整える為、随時業務内容の改善を行う。
  - ◆人員不足・職員の急な休みにおいては、他部署等の協力もあり迅速に勤務に取り入れ調整する事ができた。

## 生活困窮者等に対する相談支援事業

### 「みやざき安心セーフネット事業」への取り組み

- 1) 村社会福祉協議会より連絡を受けて協議を行い、村社会福祉協議会・北部福祉子供センター等と連携し4件の支援を行った。
- 2) 10万円を限度とした「経済的援助」、期間3ヶ月とする。
  - ・令和3年 1/8 ~ 4/2 男性
  - ・令和3年 11/1 ~ 1/31 男性
  - ・令和4年 2/28 ~ 4/20 男性
  - ・令和4年 3/30 ~ 支援中 女性

【 令和3年度 外部研修 】

期日	名称	会場	内容	出席者
4 / 5 ~6	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・口腔内・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	富士本麻衣
4 / 8 ~9	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・口腔内・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	富士本麻衣
4 / 19 ~20	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・口腔内・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	椎葉睦子
4 / 22	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・口腔内・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	椎葉睦子
4 / 26	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・口腔内・鼻腔内吸引 経鼻・胃瘻経管栄養注入	椎葉睦子
5 / 6 ~7	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	富士本麻衣
5 / 10 ~11・13	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	富士本麻衣
5 / 20 ~21	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	椎葉睦子
5 / 24 ~25	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	椎葉睦子
5 / 27 ~28	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	椎葉睦子
5 / 31	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	椎葉睦子
6 / 7 ~8	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・口腔内・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	那須寿美代
6 / 10 ~11	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・口腔内・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	那須寿美代
6 / 22 ~25	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・口腔内・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	那須寿美代

7 / 5 ~ 6	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・口腔内・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	那須寿美代
7 / 8	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・鼻腔内吸引 ・胃瘻経管栄養注入	那須寿美代
7 / 2	介護機器見学	宮崎市	・車いす分離式介護ベット「リショーン」	園長 他5名
7 / 6	新型コロナウイルス に関する研修会	日向市	・講義 「高齢者施設でのクラスター原因 対策と第5波に備えて」	黒木優子
7 / 15 ~ 16	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・口腔内・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	椎葉理恵
7 / 19 ~ 20	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・口腔内・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	椎葉理恵
7 / 26 ~ 27	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・口腔内・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	椎葉理恵
7 / 29 ~ 30	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	椎葉理恵
8 / 2 ~ 3	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	椎葉理恵
8 / 5	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	椎葉理恵
8 / 16 ~ 17	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・口腔内・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	甲斐愛菜
8 / 19 ~ 20	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・口腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	甲斐愛菜
8 / 20	安全対策担当者養成 研修(オンライン)	平寿園	・制度説明と目的 ・介護事故の実態とリスクマネジメント 他	椎葉代美子
8 / 30 ~ 31	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・口腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	甲斐愛菜
10 / 4 ~ 5	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・口腔内・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	甲斐愛菜



10 / 7	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・口腔内・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	甲斐愛菜
10 / 25 ~26	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・口腔内・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	甲斐愛菜
10 / 28 ~29	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	甲斐愛菜
11 / 1	喀痰吸引等 実地研修	平寿園	・鼻腔内吸引 ・経鼻・胃瘻経管栄養注入	甲斐愛菜
11 / 5	高齢者虐待防止 研修(ZOOM)	平寿園	・講義 「身体拘束・虐待防止の教育方法について学ぶ」	武人 桂子 代美子
12 / 9 ~10	キャリアパス初任 者研修(リモート)	平寿園	・講義 「福祉サービスの理念や論理」 他	三浦長弘 甲斐励子
12 / 14	給食研究会研修	日向市	・講義 「衛生管理について」	那須ともみ
1 / 30	介護福祉士国 家試験	宮崎市	・筆記試験	竜児 りか 井)久美
2 / 4	給食施設研修 (オンライン)	平寿園	・「災害対策に係る調査結果につい て」の説明	那須ともみ
3 / 2	会計基準実践的 基礎講習(動画)	平寿園	・講義 「社会福祉法人会計の基礎」 他	黒木由紀

園内研修

期日	内 容	職員
	4月~6月 コロナ感染関係にて中止	
7 / 27	調理企画 「食事形態と作り方」 普通・刻み・粗刻み・ソフトゼリー食	園長 他44名
8 / 26	ひだまりグループ企画 「車いす研修」 車いすの調整の仕方についての実技	園長 他46名
9 / 27	ひだまりグループ企画 「接遇について」 マナーの5原則	園長 他48名

10/26	あおぞらグループ企画 「誤薬と誤薬予防」	園長 他45名
11/24	あおぞらグループ企画 「リスクマネジメント研修」 不適切介護に繋がる	園長 他44名
12/27	伝達研修 福祉職員初任者研修・給食研究会研修 他	園長 他45名
	1～2月 コロナ感染関係にて中止	
3/28	ふるさとグループ企画 「認知症について」 認知症の人にはどう対応すべき？心得やNG	園長 他34名

【 グループ研修(勉強会) 】

【介護】		
5/31	・感染経路と予防法について 高齢者に多い感染症の特徴とは？	あおぞら 計 4名
7/25	・ベット上のポジショニングについて ・トロミの付け方	そよかぜ・ふるさと 計 6名 あおぞら 計 6名
8/30	・ミルクキングの仕方(バルーン)、目的について ・介護ロボットハグの移乗方法 ・誤飲 誤嚥 異食の違い	そよかぜ 計 5名
9/28	・帯状疱疹について	あおぞら 計 4名 ひだまり 計 3名
9/30	・帯状疱疹について ・(S・T)様 下義歯装着方法について	そよかぜ 計 4名
10/27	・昇降式リクライニング車いすの操作手順について	そよかぜ・ふるさと 計 5名
10/31	・ノロウイルスについて	あおぞら・ひだまり 計 6名
11/10	・リスクマネジメント ・介護ロボットタッチアップリフトの操作方法	あおぞら 計 4名
1/26	・ノロウイルスについて ・虐待について	そよかぜ 計 3名

2 / 8	・嘔吐物処理方法	あおぞら・ひだまり・ 計 6名
【調理】		
4 / 11	・カンピロバクター食中毒について	栄養士、調理員 計6名
5 / 9	・塩分について～塩分を抑えるポイント 他	計6名
6 / 13	・腸炎ビブリオ食中毒について	計7名
7 / 11	・蒸しパンの作り方	計6名
8 / 14	・黄色ブドウ球菌食中毒について	計7名
9 / 16	・免疫を高めるには	計5名
10 / 10	・ノロウイルス食中毒について	計6名
11 / 7	・イレウスとカリウムについて	計5名
12 / 10	・ウェルシュ菌について	計7名
1 / 12	・魚の解体(姿造り実習)	計5名
2 / 13	・アレルギー様食中毒について	計7名
3 / 6	・メラミン食器について	計6名

企画委員会	期 日	内 容	出席者
	4 / 15	・5月行事予定について ・新型コロナウイルス感染症対策について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	5 / 14	・6月行事予定について ・ワクチン接種について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	6 / 16	・7月の行事予定について ・運営に関する基準の変更について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	7 / 15	・8月行事予定について ・非常通報連絡体制について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	8 / 17	・9月行事予定について ・新型コロナウイルス感染症対策について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	9 / 15	・10月の行事予定について ・地震・風水害等自然災害対策について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	10 / 15	・11月の行事予定について ・ストレスチェック制度について	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名

	11/15	・12月の行事予定について ・新型コロナ感染症対策について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	12/15	・1月行事予定について ・認知症研修受講の義務化について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	1/17	・2月の行事予定について ・新型コロナ感染症対策について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	1/24 (臨時)	・新型コロナウイルス感染症への対応について	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 8名
	2/16	・3月の行事予定について ・新年度計画等について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	3/16	・4月の行事予定について ・新型コロナウイルス感染症について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
職員会議	期 日	内 容	出席者
		4月 コロナ感染関係にて中止	
	5/26 (文章のみ配布)	・感染症対策について ・経費節減について 他	
	6/24	・7月行事予定について ・言葉遣い、職員間の呼称について 他	園長 他46名
	7/27	・8月行事予定について ・感染症対策について 他	園長 他44名
	8/26	・9月行事予定について ・研修の工夫について 他	園長 他47名
	9/27	・10月行事予定について ・感染症対策について 他	園長 他48名
	10/26	・11月の行事予定について ・ストレスチェック制度について 他	園長 他45名
	11/24	・12月の行事予定について	園長 他44名

	12/27	・事業所の収入について 他 ・1月行事予定について ・虐待防止について 他  1月 2月 コロナ感染関係にて中止	園長 他45名
	3/28	・4月行事予定について ・介護職員処遇改善加算について 他	園長 他34名
リーダー会議	3/14	・業務改善について 他	園長 他6名

食中毒対策委員会		4月 コロナ感染関係にて中止	
	6/24	・腸炎ビブリオ食中毒について	副園長 他10名
	8/26	・黄色ブドウ球菌食中毒について	副園長 他9名
	10/26	・ノロウイルス食中毒について	副園長 他9名
	12/26	・ウェルシュ菌食中毒について	副園長 他10名
	2/24	・ヒスタミン食中毒について(資料配付)	
感染症対策委員会		5月 1月 コロナ感染関係にて中止	
	7/27	・爪白癬について	副園長 他10名
	9/27	・帯状疱疹について	副園長 他8名
	11/24	・インフルエンザについて	副園長 他11名
	3/28	・緑膿菌について	副園長 他8名
保健衛生委員会	3/28	・ストーマ装具交換について	護 介護 17名
事故防止対策委員会	4/15	・事故報告についての対策検討 事故 7件	園長 他8名
	5/14	・事故報告についての対策検討 事故 6件	園長 他8名
	6/16	・事故報告についての対策検討 事故 6件 6/24 職員会議にて申し送り周知する	園長 他8名
	7/15	・事故報告についての対策検討 事故 6件 7/27 職員会議にて申し送り周知する	園長 他8名

	8/18	・事故報告についての対策検討 事故 8件 8/26 職員会議にて申し送り周知する	園長 他 8名
	9/15	・事故報告についての対策検討 事故 6件 9/27 職員会議にて申し送り周知する	園長 他 8名
	10/15	・事故報告についての対策検討 事故10件 10/26 職員会議にて申し送り周知する	園長 他 8名
	11/15	・事故報告についての対策検討 事故 4件 11/24 職員会議にて申し送り周知する	園長 他 8名
	2/16	・事故報告についての対策検討 事故 6件	園長 他 8名
身体拘束適 正化委員会	6/25	・身体拘束につながる可能性について(現在の状況)	園長 他 8名
	9/ 8	・身体拘束につながる可能性について(現在の状況)	園長 他 8名
	12/10	・身体拘束につながる可能性について(現在の状況)	園長 他 8名
	3/14	・身体拘束につながる可能性について(現在の状況)	園長 他 8名
身体拘束に 関しての職 員研修	11/24	・リスクマネジメント研修 他	園長 他 44名
	12/24	・虐待、拘束について(コロナ感染関係で中止)	
身体拘束に 関しての新 人研修			
褥瘡対策委 員会			
看護検討会	4/1	・感染症対策委員会について ・コロナワクチン接種について 他	(施)看護師3名

【入居者サービス担当者会】

期日	参加者(名)	期日	参加者(名)
4/12	8	10/18	8
4/16	6	10/20	6
4/19	7	10/21	6
4/22	5	10/27	5
5/7	7	11/10	7
5/19	5	11/13	7
5/27	7	11/17	8
		11/25	6
6/15	8		
6/21	7	12/13	7
6/22	7	12/20	8
7/12	7	1/11	6
7/13	7	1/20	7
7/22	8	1/21	7
		1/24	
8/12	7		
8/19	8	2/9	プラン修正と各部署との協議
8/20	6	2/11	〃
8/24	10	2/17	〃
9/13	7	3/9	7
9/16	9	3/14	プラン修正と各部署との協議
9/20	6	3/17	7
9/22	9	3/22	6

令和3年度

【実習受け入れ】

月 日	内 容	人数

令和3年度 事業経過報告  
行事・催し等 (園全体)

月 日	名称	内 容	備考
4/25	園外散歩 (あおぞら・ひだまり)	・施設園外にて 八重桜見学 山の景色見学	利用者 13名 職員 6名
5/16	漬物作り (あおぞら・ひだまり)	・利用者と一緒に漬物作り 人参・胡瓜・茄子・白菜使用	利用者 8名 職員 6名
5/16	こいのぼり茶話会 (あおぞら・ひだまり)	・歌の披露	利用者 36名 職員 5名
6/16	父の日茶話会 (そよかぜ・ふるさと)	・カラオケ ・メッセージカードプレゼント	利用者 32名 職員 6名
6/20	ゼリー作り (あおぞら・ひだまり)	・利用者と一緒にゼリー作り (おやつ時に試食)	利用者 38名 職員 5名
7/7	七夕茶話会 (あおぞら・ひだまり)	・歌、ハーモニカ披露 短冊の願い事を紹介	利用者 38名 職員 5名
8/15	お盆茶話会 (あおぞら・ひだまり)	・職員手作りの精霊様に拝む ・思い出話	利用者 38名 職員 5名
9/10	尾平トンネル見学 (そよかぜ・ふるさと)	・トンネル周辺の見学 ・記念撮影	利用者 4名 職員 4名
10/13	合同運動会 (そよかぜ・ふるさと)	・赤団、白団に分かれ競技をして もらう	利用者 24名 職員 9名
10/17	尾平トンネル見学 (あおぞら・ひだまり)	・トンネル周辺の見学 ・記念撮影	利用者 6名 職員 4名
11/14	合同紅葉ドライブ(PM) (そよかぜ・ふるさと)	・上椎葉街中→仲塔湊谷 ・記念撮影	利用者 6名 職員 4名
11/14	合同紅葉ドライブ(AM) (あおぞら・ひだまり)	・上椎葉街中→仲塔湊谷 ・記念撮影	利用者 5名 職員 5名
12/25	クリスマス会 (全グループ、フロア毎)	・お菓子バイキング ・クリスマスプレゼントを渡す	利用者 69名 職員 12名



1/2	新年茶話会 (あおぞら・ひだまり)	・カラオケ ・新年の抱負披露	利用者 32名 職員 6名
2/4	節分(豆まき) (そよかぜ・ふるさと)	・鬼のつけた箱に落花生を投げる	利用者 31名 職員 6名
2/16	バレンタインチョコ作り (あおぞら・ひだまり)	・チョコレートを溶かし飾り付ける (おやつ時に試食)	利用者 12名 職員 7名
3/2	ひなまつり茶話会 (そよかぜ・ふるさと)	・利用者、職員の歌の披露 ・手作りプリン試食	利用者 23名 職員 7名
3/27	花見ドライブ (あおぞら・ひだまり)	・小崎→小崎の川→中学校 桜や川、山々の見学	利用者 31名 職員 6名

ボランティア

月 日	団 体 名	目的・内容
10月20日	椎葉支店JA女性部役員、 JA職員 12名	施設外清掃 花壇花植え
12月 4日	尾前子供会 子供5名 父母3名	神楽披露

令和3年度 防災訓練

期 日	名称	内容	参加者
4 / 9	消火器・消火栓 操作訓練	* クンレンダー(訓練用消火器)を使用した放水訓練・消火栓の手順確認と操作方法	職員 14名
5 / 21	避難経路の確認	* 出火場所により避難経路の手順確認	職員 12名
5 / 26	緊急時非常通報 連絡(1回目)	「そよかぜカウンターより出火、施設に集合」との連絡を全員に回す	職員 63名
6 / 25	夜間を想定した 避難訓練	* 厨房より出火したとの想定で訓練実施	職員 16名 利用者72名
7 / 9	夜間を想定した 避難訓練	* デイサービスより出火したとの想定で訓練実施	職員 19名 利用者69名
7 / 31	総合防災避難誘導 訓練(防災の日)	* 園外での避難誘導確認(車いす操作) * 2階職員通路口からの車いす誘導手順確認 * 階段からの避難誘導手順確認	職員 13名 消防団員 7名
9 / 8	昼間を想定した 避難誘導訓練	* 洗濯場より出火したとの想定で訓練実施	職員 21名 利用者70名
9 / 29	緊急時非常通報 訓練(2回目)	* 携帯 LINE での連絡 LINE に入っていない職員には部署内での連絡	職員 60名
10 / 8	地震対策訓練	* 落下物・環境面の点検 避難経路確認	職員 12名
11 / 12	夜間を想定した 避難訓練	* 厨房より出火したとの想定で訓練実施	職員 19名 利用者73名
12 / 10	消火器・消火栓 操作訓練	* クンレンダー(訓練用消火器)を使用した放水訓練・消火栓の手順確認と操作方法	職員 12名
1 / 21	宮崎県沖の日向灘 を震源とする最大 5強の地震発生	* 夜間時の地震対応についての報告	
2 / 15	緊急時非常通報 訓練(3回目)	* 携帯 LINE での連絡	職員 60名

## 令和3年度 利用者状況

### 【入退所状況】

#### 退所者

退所年月日	性別	年齢	備考
R3 4/13	女	88	死亡
4/26	男	91	死亡
4/30	女	85	死亡
5/6	女	85	死亡
5/14	女	101	死亡
6/14	女	91	死亡
7/19	女	105	死亡
7/21	男	90	死亡
9/19	男	85	死亡
9/20	男	82	死亡
10/11	女	103	死亡
12/5	女	94	死亡
12/28	女	84	死亡
R4 1/9	女	100	死亡
1/9	女	101	死亡
1/16	男	89	死亡
1/18	女	100	死亡
1/25	男	91	死亡
3/12	女	88	死亡
3/19	女	100	死亡
3/26	男	83	死亡

#### 入所者

入所年月日	性別	備考
R3 4/15	男	在宅より
5/6	男	在宅より
5/10	女	在宅より
5/18	女	在宅より
5/21	女	在宅より
6/17	女	在宅より
7/22	男	在宅より
7/30	男	他施設より
9/22	女	在宅より
9/29	男	在宅より
10/13	女	在宅より
12/8	女	在宅より
R4 1/7	男	在宅より
1/12	男	在宅より
1/12	男	在宅より
2/1	男	在宅より
2/1	男	他施設より
1/20	女	在宅より
3/16	男	在宅より
4/2	女	在宅より
4/12	女	在宅より

### 【性別年齢構成表】

令和4年 3月31日現在

年齢（歳）	80未満	80以上～ 90未満	90以上～ 100未満	100以上	合計
男性	6	7	10	0	23
女性	1	13	20	0	34
合計	7	20	30	0	57

### 【平均年齢】

男性	86.2歳
女性	90.7歳
全体	88.9歳

### 【要介護度別構成表】

令和4年 3月31日現在

要介護度	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	0	1	1	4	11	6	23
女性	0	0	1	3	21	9	34
計	0	1	2	7	32	15	57

（ 平均要介護度 3.8 ）

【性別在所期間】

在所期間 性別	1年未満	1年～ 3年未満	3年～ 5年未満	5年～ 10年未満	10年以上	計
男性	9	5	6	3	0	23
女性	8	7	9	8	2	34
合計	17	12	15	11	2	57

令和3年度入所実績

R3・4・1～R4・3・31

月	事業別のべ入所者数				
	施設入所 (60)	短期入所 (16)	予防短期	障がい短期	短期宿泊
4月	1640	466	0	3	0
5月	1616	432	0	0	0
6月	1683	451	0	0	0
7月	1719	357	5	0	0
8月	1646	444	12	4	0
9月	1579	477	14	0	0
10月	1717	459	19	0	0
11月	1657	466	0	0	0
12月	1666	494	7	14	0
1月	1684	474	14	5	0
2月	1569	413	11	0	0
3月	1722	455	0	0	0
計	19898	5388	82	26	0
平均利用者数	54.5人/日	平均利用者数 15.1人/日			
年間稼働率	91%	年間稼働率 94%			

## 令和3年度 デイサービスセンター事業報告

要介護者や障害のある方が、住み慣れた地域で安心して充実した生活が送れるように支援する。

### 1、感染予防対策に努める。

- ・予防対策として、利用時ご本人様、ご家族様の体調確認を行う。
- ・乗車前の検温・マスク着用の促しを行う(準備)。
  - ◆送迎時、家族を含めた体調確認を行い、検温・マスクも確実に使用できていた。
- ・送迎車輛・デイルーム内のこまめな換気を行う。
- ・デイルーム到着時の、手指消毒を行う。
- ・デイルーム内では、間隔を開けた座席の配置を行う。
  - ◆車輛内での換気は利用者に説明し行う事ができた。
  - ◆デイルーム内の換気と、手指の消毒も利用者に感染症の説明をする事で理解してもらい確実に行えた。

### 2、生きがいや楽しみの持てる余暇活動の充実を図る。

- ・個々の心身状況に応じた活動内容を検討し提供する。
- ・固定観念を持たず、利用者の出来ない部分を手伝う。
  - ◆利用者の能力に合わせたグループ分けをし、皆が活動に参加する事ができた。
- ・利用者同士、コミュニケーションを取りながら一緒に向上していけるよう支援する。
- ・利用者が笑顔で参加できるよう明るい雰囲気づくりを心がける。
  - ◆活動時間は自由に会話を楽しんだり、お互いに手伝う事で明るい雰囲気を作る事ができた。

### 3、利用者ご家族との連携を深める。

- ・家族からの申し送りや、状態についての情報は職員全員で共有し統一した支援ができるようにする。
- ・敬意を持った言葉遣いや、笑顔での挨拶を心がける。
  - ◆申し送り事項や、状態についての情報は職員全員で共有する事で統一した支援ができた。
- ・医療ケアが必要な場合は、専門医の受診を勧め、ケアマネージャーや医療機関と連携しながら支援する。
  - ◆入浴時や状態について、担当ケアマネよりの申し送りは職員で共有し確認できた。受診が必要な場合は家族や担当ケアマネに報告する事で受診を勧めたり、連携した対応ができた。

【通所要介護度別利用実績】

令和3年4月～令和4年3月

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護度													
要支援1	23	32	26	22	16	29	27	28	31	26	23	36	319
要支援2	24	35	40	40	35	34	32	32	26	17	20	27	362
	47	67	66	62	51	63	59	60	57	43	43	63	681

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護度													
要介護1	40	45	41	39	41	38	32	46	47	47	37	35	488
2	42	53	42	38	35	40	45	37	33	39	37	47	488
3	19	19	28	27	16	23	28	20	15	14	14	13	236
4	6	4	3	7	7	5	3	6	6	4	3	6	60
5	3	2	2	8	0	6	5	6	6	2	2	1	43
計	110	123	116	119	99	112	113	115	107	106	93	102	1315

通所介護年間稼働日 303日

予防通所介護一日平均利用者数 2.2人

通所介護 一日平均利用者数 4.3人

要支援 1	1.1人
要支援 2	1.2人
要介護 1	1.6人
2	1.6人
3	0.8人
4	0.2人
5	0.1人

【いきがい活動支援通所事業実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
のべ利用者数	65	79	91	99	77	95	88	88	76	72	68	92	990

(登録者) 49人 (1日平均利用者) 3.3人

【障害者デイサービス事業実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
のべ利用者	15	15	16	23	12	14	16	15	12	13	15	18	184

(登録者) 7人 (1日平均利用者) 0.6人

## 令和3年度 平寿園居宅介護支援事業 事業報告

### 実績について

- ・支援件数は前年比90%、要介護者は前年比で92%、要支援89%だった。
- ・新規の受け入れも積極的に行ったが、有料や特養への入所者が多く結果として支援者の人数は減少した。介護報酬金額は前年比で6%の減少だった。

### 居宅介護支援について

- ・居宅介護支援は独居、生活保護等の困難事例があった。地域外への有料ホームへの入所が3件、村外の施設への短期入所が1件の事例があった。
- ・予防支援や総合事業の業務は順調に計画や支援等ができた。
- ・個別ケア会議への事例提出も要請に従って提出、検討する事ができた。
- ・地域ケア会議、情報交換会議へも毎回出席する事ができた。
- ・新型コロナウイルスの影響で、県外からの帰省や面会等が困難となり入院やサービス調整で時間を費やした。また、会議等が中止になる事があった。

### その他

- ・必要に合わせて短期入所送迎を行った。

### 【居宅支援事業 令和3年度実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護1	15	15	14	14	12	14	14	12	13	13	13	14	163
介護2	13	13	11	10	10	11	10	10	10	10	13	12	133
介護3	12	12	12	11	11	12	11	12	12	11	13	12	141
介護4	9	8	6	8	9	8	7	8	8	8	4	5	88
介護5	1	1	1	1	1	2	5	4	3	3	3	5	30
要介護合計	50	49	44	44	43	47	47	46	46	45	46	48	555
予防 件数	12	11	13	14	14	14	13	11	12	11	10	11	146
件数合計	62	60	57	58	57	61	60	57	58	56	56	59	701